



令和6年を終えて

私は、体育館の天井を見ると船の底に見えます。生徒のみなさんと先生方、全員がこの大きな船に乗って長い旅にでているのだと感ずることがあります。

この旅には、お客様はいません。生徒、先生方、一人一人が大切な乗組員です。船を前に進める力は、乗組員、全員の努力です。一人一人、自分のできることをコツコツと積み重ねること。協力して力を合わせたり、教え合ったり、助け合ったり、挑戦したりすること。そんなみんなの気迫や元気、エネルギー、努力が、この神林中を前に進めてきました。一人も船から降りることなく前に進んできました。この旅を通して、一人一人が色々なことを経験し成長しています。そして、神林中学校6年目の歴史がしっかりと創られています。



色々なことがありましたね。のんびりと船旅を楽しめた時期もあったかもしれません。仲間と大切な思い出を作ることにはできたでしょうか。もしかすると、嵐の中で、必死に前に進んだ時期もあったかもしれません。「1人ではできないことが、みんなで力を合わせたからできた。」「自分が苦手なことでも、一緒に頑張る人がいたから挑戦できた。」「少しずつ続けたら、できることが増えた。」そんなこともあったのではないのでしょうか。「くじけそうになったとき（船から落ちそうになったとき）声をかけてくれたり助けてもらったりして、うれしかった。」「そばにいてもらうだけで笑顔になった、安心できた。」「意見が合わなかったけど、何度も話したら相手の気持ちが分かった。」「気が合わないと思っていたけど、良いところも見えてきた。」そんな場面もあったかもしれません。

本当にお疲れ様でした。毎日の一つ一つにしっかりと向き合い、成長してきた自分を褒めてあげましょう。そして、支えてくれた周りの仲間や家族、先生方にも感謝しましょう。

冬休みは、この船が港に立ち寄る補給期間です。13日間という短い時間ですが、一人一人、疲れをいやし、しっかりと充電してください。家族や親戚の人との時間をゆっくり過ごして、心も身体も元気いっぴいの状態にして来てください。そして、次の船出に向けての準備もしてください。3月までに何をするか、やりたいこと、しなければならないことを整理し、ターゲットを決めたり、次の目標へ向けての決意を固めたりできるのは、この冬休みの時間だと思います。ぜひ、この休みを大切にしてください。

令和7年度生徒会役員決定

令和7年度生徒会役員立候補者による立会演説会及び投票が行われました。今回の選挙では5名の役員に対して7名の立候補がありました。

11月14日から立候補を受け付け、11月26日から選挙活動を行いました。校内でのポスター掲示、朝の玄関での選挙活動、終学活での各クラスでのスピーチなどの選挙運動を行ってきました。12月2日の立会演説では、



全校生徒に対して各候補者とその責任者が公約や候補者の意気込みについて演説を行いました。先輩が作ってきた神林中の伝統をどう引き継ぐか。そして、さらにどのように発展させていきたいかを自分の言葉で訴えかけました。全校生徒は、真剣な演説に集中して

聞き入るとともに、演説の後には大きな拍手で応援の気持ちを伝えていました。また、今年度役員から候補者に対して、その役職に就く覚悟や心構えを確認する厳しく温かい質問が出されていました。その後、投票が行われ、来年度生徒会役員が決定しました。当選した生徒会役員を含め、現在の1, 2年生はすべてが来年度の神林中を引っ張るリーダーです。様々な場、それぞれの立場で自分ができることをしっかりやり、その真剣な姿で後輩を導いてほしいと思います。

令和7年度生徒会役員	
生徒会長	小野 緑日
生徒会副会長	小池明日夢
	伊佐野 空
生徒会書記長	平山 杏
応援団長	齋藤 樹喜



第3回定期テスト

11月7日(木)、8日(金)の2日間、今年度3回目の定期テストを行いました。朝、バスから降りる生徒は片手に問題集をもつ生徒がたくさんいました。少し肌寒い気分で、今年初めてのあられが降るような天気でしたが、玄関前に集まって、問題を出し合う生徒もいました。休み時間、プリントや問題集に顔を近づけて、しっかり頭に入れようとしている姿からテストへの意気込みが伝わってきました。

テスト中は、コツコツと文字を書く音だけが教室に響いていました。また、英語のリスニングテストでは、姿勢を正し、流れる放送に聞き入る様子から、テストへの真剣さ、気迫が感じられました。

年間4回ある定期テストのうち3回目が終了しました。令和6年度の締めくくりへ向けた活動、令和7年度の準備の活動が始まっています。卒業、進級へ向けて、生徒一人一人、1日1日を大切に、しっかりと前に進んでほしいと思います。



新入生保護者説明会を実施しました。

11月11日(月) 来年度入学予定の新入生及び保護者を対象とした説明会を開催しました。

説明会の前に、一つ上の先輩にあたる中学1年生とスポーツ体験を行いました。誕生月ごとのグループで、ボールを使ったゲームや長縄跳びなどをする中で、次第に笑顔が増え、歓声もたくさんあがっていました。両小学校の6年生同士、中学校の先輩とのつながりを感じ、入学への不安を減らすことができたのではないのでしょうか。続いて、授業や校舎の見学を行い、中学校の様子を実際に見て確かめました。オリエンテーションでは、新しい科目や時間割、年間の行事、放課後の過ごし方、通学方法等、中学校生活についての説明がありました。そして、二人の1年生が、自分が感じた中学校と小学校の違いや行事の様子などを、先輩からのメッセージとして伝えました。その後、6年生は部活動見学を行い、それと並行して保護者の皆様には下越教育事務所の滝波スクールソーシャルワーカー(S S W)からの講演会に参加していただきました。滝波S S Wからは、中学生がぶつかる課題や保護者の関わり方のポイントなど、今まで担当した事例を元に、問題行動、不適応などの未然防止のためのお話をしていただきました。



最後に、制服、体操着などの採寸をしてすべての日程を終了しました。

密度の濃い日程でしたが、体験を通して6年生は中学校入学の準備、覚悟を一步進めることができたのではないのでしょうか。

職場体験報告会を行いました。

11月14日(木)、2年生が10月に行ったキャリアスタートウィーク(職場体験)の報告会を行いました。平日の発表でしたが、10名以上の保護者の皆様にお越しいただき、熱心に発表をご覧いただきました。生徒はその職場を選んだ理由や体験の内容、教えていただいたことや体験を通して学んだことなどをプレゼンテーションにまとめ、分担しながら発表しました。中には、体験の中でご指導いただいた名刺の渡し方やあいさつの仕方などについて、実技を交えて発表するグループもありました。特に、体験した人にしか感じられない働くことの難しさややりがい、職員の皆様への敬意などを自分の言葉で表していました。この体験が自分の将来について深く考える機会になったという言葉もたくさん聞かれました。午後の授業時間での発表の予定でしたが、熱心な発表はこの枠には収まらず、後日、残りの発表を実施しました。



地域の皆様のご協力をいただいて実施した体験活動が、生徒の視野を広げ将来の自分について考える貴重な機会になったことを本当にありがたく思います。生徒一人一人が、今回の発表で自覚、確認することができた職場体験の学びを、これからの学校生活に生かし、さらにたくましく成長できるよう指導、支援して参ります。

本気で楽しんだ全校レクリエーション

11月21日(木)5時間目の時間を使って全校レクリエーションを行いました。

今回は、レクリエーションの元祖「おにごっこ」を行いました。体育館フロア全面を会場に、鬼にタッチされた人はステージ前に手をつないで並び助けを待つという方式でした。異学年交流を行いたいということで学年の違う2クラスが合同で行いました。4分間の時間で追いかける鬼と必死逃げる生徒たちは本気でダッシュとストップを繰り返し、体育館は熱気でいっぱいになりました。冬の初めの寒い体育館でしたが、ギャラリーで応援している生徒の中には、半袖姿の身体から湯気が立つ生徒もいました。短い時間でしたが、みんなで汗を流す中で神林中学校の生徒の絆を深めることができました。



いじめ見逃しゼロスクール集会

11月26日(火) 神納小学校、平林小学校の6年生を招いて、神林中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。今年は、いじめ見逃しゼロ県民運動のサポーターを務められ、学校での講演を1800回以上されている高橋なんぐ様をお招きすることができました。

今回のテーマは「セルフコントロール」でした。生活の中でぶつかる「怒りや悲しみ」にどのように向き合ったら良いか、上手な付き合い方について考えました。生徒は3つの学校の児童生徒が入り交じった24の班に分かれ、高橋様のお話を聞きながら自己紹介等の活動を行いました。はじめは初対面の人も多く、ぎこちなく話をしていましたが、高橋様のリードで活動する中で次第に笑顔も増え、これから同じ地域で学ぶ仲間として絆を深めていました。

ご講演では、ご自身の世界一周のご経験などを元に「見方を変えれば味方が増える。」「相手に対しても自分に対しても決めつけることはマイナスになる。」「自分と関係ないと思う範囲を減らしていこう。」「今見えている世界の外にはもっと広い世界がある。」等のお話をさせていただきました。

そして、今回のテーマである「イライラしたり悲しくなったりしたとき気持ちを切り替える方法」について班内で話し合いました。

各班では「友達や家族へ相談する。」「好きなことをする。」「身体を動かす。」等の意見が出ていました。その後、高橋様に全体のまとめをいただき「相談できる人をもつことが大切。」「感情だけで終わらず、なぜそう感じるのかを言葉にしてみよう。」「自分と他の人の考えが違うのは当たり前と認めることが大切。」等のお話をいただきました。振り返りを発表した代表児童は、自分の見方、考え方、伝え方などについて振り返り、今後の生活に生かしたいという感想を発表していました。

約2時間の短い時間でしたが、自分の気持ちをコントロールする難しさや大切さについて本音を出し合い、思いを共有できたことは大変有意義であったと思います。

高橋様のリードで、笑いのある中にも充実した話し合いができましたことに、心より感謝いたします。

また、講師の派遣について、今年度も神林地区青少年育成市民会議様のご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。



人権強調週間の取組

神林中学校では11月25日(月)～12月13日(金)を人権強調週間として、人権について考える取組を行いました。上記のいじめ見逃しゼロスクール集会の他、各学年で同和教育副読本『生きる』を活用した授業を2週にわたって行いました。

各学年の発達段階や実態に応じて、差別や偏見を含んだ様々な事象に触れる中で、その問題に気づき、憤り、そして誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、その問題を克服しようとする行動ができるように、意識を育て、高めるための学習を行いました。

各学年、差別や偏見の不合理性について真剣に考え、その解消のためにできることや心がけたいことを自分の言葉で表現していました。



民生委員、児童委員の皆様がお越しく下さいました。

12月3日(木) 神林地区の各集落を担当されている民生委員の皆様と主任児童委員の皆様がお越しく下さり、授業参観と懇談会を行いました。民生委員児童委員の皆様からは、全員でしっかりと音読する様子、タブレットを活用する様子など、生徒が真剣に授業に向かう姿に対してお褒めの言葉をいただきました。懇談会では、学年主任も加わり、授業の方法の変化や学力向上へ向けた取組の状況、生徒の生活の様子等について情報交換させていただきました。

民生委員児童委員の皆様はじめ、地域の皆様との「つながり、連携、協力」を大切にしながら、子どもたちの笑顔と成長をしっかりと支えていきたいと考えております。



令和6年最後の思い出 全校球技大会

12月19日(木)、20日(金)の2日間、午後の時間を使って球技大会を行いました。事前のアルミ缶回収による生徒の投票で、種目は「バレーボール」となりました。今年を締めくくる球技大会ということで、昼休み等を使って練習する気合いの入ったクラスもありました。

当日は、各クラスから4チームを作り、2チームずつがペアになって交替しながらゲームを行いました。「バレー部のアタックは利き腕と反対で」など、どの生徒も公平に楽しむことが出来るようルールも工夫されていました。勝負はすべてのクラスの総当たり戦で決定しました。

外は積雪があり寒い体育館の中でしたが、フロアで対戦するチームだけでなく、コート脇で待機する生徒、ギャラリーから応援する生徒の歓声が響き、体育館は熱気が満ちていました。最後には選抜チームと職員チームの対戦もあり、温かい応援の中、大いに盛り上がり、たくさんの笑顔が見られました。

運営はすべて生徒会執行部を中心とした生徒の手で行われ、令和6年最後の全校での行事をしっかりとやり遂げました。全校生徒のパワーと成長、温かさを感じるとても充実した時間でした。



令和6年をしめくくる神中の活躍

第55回 新潟県ジュニア美術展覧会【奨励賞】 吉村悠希

村上市岩船郡児童生徒図画展覧会 出品

佐藤まりあ 高橋 悠 木村萌乃果 齋藤 瑠愛

第48回新潟県アンサンブルコンテスト

銅賞 金管5重奏(齋藤音逢 加藤仁子 矢田 慎 横山心柚 八藤後七織)

銅賞 木管5重奏(小川 翠 本間絢葉 小林恵衣 木村萌乃果 田村 葵)



冬休み～1月の予定

12月

24 火 2学期終業式
25 水 冬季休業日(～1/6)
28 土 学校閉庁日 諸活動停止(～1/3)

1月

6 月 3年生実力テスト(希望者)
7 火 3学期始業式
8 水 フッ化物洗口
9 木 3年放課後学習会
10 金 PTA三役会

14 火 3年放課後学習会
15 水 フッ化物洗口
16 木 新入生保護者説明会 3年放課後学習会
17 金 英語検定
21 火 生徒会専門委員会
22 水 職員会議 フッ化物洗口
23 木 1,2年生午前授業 性についての講演会(3年)
28 火 3年放課後学習会
29 水 フッ化物洗口
30 木 3年個別面談(～2/3)
テスト前部活動停止(～2/6)

保護者の皆様へ

先日はご多用の所、期末保護者会にお越しいただき大変ありがとうございました。また、保護者アンケートへのご回答をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、さらに充実した3学期となるよう改善を図ってまいります。ご家族の皆様がお元気で新しい年を迎えられますようお祈りしております。